

問1 新潟県から静岡県付近を縦に貫き、日本列島を地質的に東日本と西日本に分ける巨大な溝状の地形において、その西側の境界線となっている断層帯の名称を答えなさい。（2021年 山口公立入試 類似）

1. 糸魚川静岡構造線 2. 中央構造線 3. 棚倉構造線 4. 柏崎千葉構造線

問2 都市の中心部の気温が、周辺部に比べて島状に高くなる現象について述べた次の文の空欄にあてはまる用語として正しいものを、後の選択肢から一つ選びなさい。「都市部では地表面が（ ）やコンクリートで覆われているため熱が蓄えられやすく、さらに自動車やエアコンなどからの人工排熱が加わることで、郊外よりも気温が高くなる。この現象をヒートアイランド現象という。」（2018年 長崎県公立入試 類似）

1. アスファルト 2. 森林 3. 水田 4. 湿地

問3 ある地域の2万5千分の1地形図において、海岸線から内陸に向かって数えて3本目の主曲線上に津波避難所が設置されている状況を想定します。海岸線の標高を0mとしたとき、この避難所の標高として読み取れる数値はどれですか。（2018年 沖縄公立入試 類似）

1. 約10m 2. 約20m 3. 約30m 4. 約40m

問4 河川の近くに住んでいる中学生が、地域の防災について話し合っています。大雨による浸水被害を想定した、日頃からの具体的な備えとして最も適切なものはどれか。（2018年 佐賀公立入試 類似）

1. ハザードマップを活用して被害予測範囲や避難場所、避難経路を事前に確認し、非常食や飲料水を準備しておく。
2. 河川には高い堤防が整備されているため、浸水のリスクはないと考え、避難場所の確認よりも家財道具の保護を優先する。
3. 実際に災害が発生し、避難勧告などが出された後に、インターネットやテレビで初めて避難場所の所在地を検索する。
4. 避難場所は自治体が指定しているため、事前の確認は行わずに、災害時には近くにある最も大きな公共施設へ向かう。

問5 岡山市の操山（みさおやま）という山の麓から市街地にかけての様子を描いた地形図において、郵便局、交番、図書館、博物館などの公共施設が立ち並んでいる状況を想定します。この地域にある「歴史的な文化財や美術品を展示している施設」を特定しようとする場合、どのような形状の地図記号を探すべきですか。（2019年 愛知公立入試 類似）

1. 建物の正面入口を表現した形状 2. 本を開いた様子を表現した形状 3. 丸の中に「文」の文字が入った形状 4. ○の中に×印が入った形状

問6 北海道が属する冷帯（亜寒帯）の気候的な特徴と、その環境における植生の説明として適切なものを選びなさい。（2018年 大阪公立入試 類似）

1. 冬の寒さが厳しく、夏は比較的短いのが、針葉樹などの森林が発達する。
2. 一年中気温が高く、スコールと呼ばれる激しい雨が降り、常緑広葉樹が密生する。
3. 降水量が極めて少なく樹木が育たないため、乾燥に強いサボテンなどが点在する。
4. 一年中気温が氷点下であり、地表は常に氷や雪に覆われ、植物は全く育たない。

問7 2万5千分の1地形図において、道路と鉄道が交わる地点の状況を読み取る際、道路の記号が途切れて描かれ、その上を鉄道の線路の記号が連続して重なるように描かれている場合があります。このような図上の表現が示している現地の状況として正しいものはどれですか。（2024年 東京都公立入試 類似）

1. 鉄道が道路の上を通過する立体交差になっている 2. 道路が鉄道の上を通過する立体交差になっている 3. 鉄道と道路が同じ高さで交わる踏切になっている 4. 鉄道が廃止され、道路として再利用されている

問8 日本の国土面積と人口分布の関係について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。なお、日本の地形面積の割合は山地が約75%、平野（台地と低地）が約25%であるものとします。（2019年 徳島公立入試 類似）

1. 国土の約4分の1を占める限られた平野部に、全人口の約8割が集中して居住している。
2. 国土の約4分の3を占める広大な山地に、全人口の約8割が分散して居住している。
3. 平野と山地の面積比に応じて、人口もそれぞれ約50%ずつ均等に分布している。
4. 居住に適した低地の面積は国土の半分以上を占めており、そこに人口が集中している。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 糸魚川静岡構造線	フォッサマグナの西端を画する大断層線です。この線を境に東側と西側では地層の年代や性質が大きく異なっており、日本列島の形成過程を示す重要な地形的特徴として知られています。
問2	答え 1 アスファルト	都市部では土の地面が少なく、太陽光による熱を吸収・蓄積しやすい性質を持つアスファルトやコンクリートが多くを占めています。これにより、夜間になっても気温が下がりにくくなります。また、人口や産業が集中する都市特有の要因として、冷暖房器具や自動車のエンジンなどから排出される人工排熱が気温をさらに押し上げる要因となっています。
問3	答え 3 約30m	2万5千分の1の地形図における等高線の主曲線は10m間隔で設定されています。海岸線を標高0mの基準とした場合、内陸に向かって1本目の主曲線は標高10m、2本目は20m、3本目は30mを示します。したがって、3本目の主曲線付近に位置する避難所は、海面から約30mの高さにあることが判断できます。このように地形図の情報を正しく読み取ることは、地域の防災計画を理解する上でも重要です。
問4	答え 1 ハザードマップを活用して被害予測範囲や避難場所、避難経路を事前に確認し、非常食や飲料水を準備しておく。	自然災害による被害を最小限に抑えるためには、行政が配布しているハザードマップを確認し、自分の住む場所の危険度や安全な避難経路を把握しておくことが重要です。また、ライフラインの遮断を想定し、非常食や飲料水の備蓄といった家庭での自助努力も求められます。災害が起きてから避難場所を探したり、堤防があるからと過信したりすることは、適切な避難行動を妨げる原因となります。
問5	答え 1 建物の正面入口を表現した形状	歴史的な文化財や美術品を展示する施設は「博物館」の地図記号で表されます。この記号は建物の正面入口をモチーフにしており、市街地の公共施設の中でも文化的な役割を持つ場所を示します。選択肢にある「本を開いた形状」は図書館、「文」の文字は小・中・高校、「○の中に×印」は警察署を示しており、これらはすべて地形図上で公共施設を区別するために重要な記号です。
問6	答え 1 冬の寒さが厳しく、夏は比較的短いが、針葉樹などの森林が発達する。	冷帯（亜寒帯）は、冬の寒さは非常に厳しいものの、夏にはある程度の気温上昇が見られるため、樹木が成長できるのが特徴です。そのため、ユーラシア大陸北部などではタイガと呼ばれる広大な針葉樹林が広がっています。一年中気温が高いのは熱帯、降水量が少ないのは乾燥帯、植物が育たないほど寒いのは寒帯の説明であり、冷帯の定義とは異なります。
問7	答え 1 鉄道が道路の上を通過する立体交差になっている	地形図では立体的な交差を表現する場合、上に位置するものの記号をそのまま描き、下に位置するものの記号を中断させて描くという原則があります。鉄道の記号が連続し、道路の記号がその下で途切れている場合は、鉄道が高架などで道路の上を跨いでいることを示します。逆に道路が連続していれば、道路が橋などで線路を跨いでいることとなります。
問8	答え 1 国土の約4分の1を占める限られた平野部に、全人口の約8割が集中して居住している。	日本の国土は山地が全体の約75%を占める山国であり、居住や農耕に適した平地は非常に限られています。そのため、わずか面積25%程度の平野部に都市や工業地帯が発達し、全人口の約80%が密集して暮らすという極端な人口集中が起こっています。これに対し、面積の広い山地には全人口の約20%しか居住していません。